

平成 17 年 12 月 1 日  
北陸電力株式会社  
日本海発電株式会社

## 風力発電所の開発に向けた調査の実施について

北陸電力グループは、地球温暖化防止の観点から新エネルギーの利用拡大・普及促進を経営の重点事項として、さまざまな取り組みを推進しております。

また、平成 15 年度からは「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」(通称 RPS 法)が全面施行されており、その趣旨も踏まえ風力発電の開発促進などを検討してまいりました。

このたび、新エネルギーの利用拡大の一環として、石川県羽咋郡志賀町福浦港地区において風力発電所の開発を計画しました。来春より約 1 年間、地域の皆様をはじめとする関係各位のご理解をいただきながら調査を行い、その結果を踏まえて計画の詳細を詰めてまいります。

この風力発電所の計画推進にあたっては、北陸電力グループの総合力を発揮して取り組むこととしており、これまで中小水力発電を開発してきた日本海発電が主体となって進める予定です。

北陸電力グループは、今後とも、新エネルギーの積極的な導入促進など地球環境保全への取り組みを推進し、「環境先進企業」を目指してまいります。

### < 調査の概要 >

・ 調査期間 平成 18 年春から約 1 年間 (予定)

・ 調査内容

風況調査	計画地域での風速、風向の調査
環境調査	動植物、騒音、電波障害、景観等に係わる調査
地質調査	計画地域での地形・地質調査

### < 計画の概要 >

・ 名 称 福浦風力発電所 (仮称)

・ 所 在 地 石川県羽咋郡志賀町<sup>ふくらこう</sup>福浦港地区

・ 発電所規模 2 万 kW 程度

今後の調査結果や風力発電機器の開発動向などを踏まえ検討し決定する予定です。

・ 開発・運営主体 日本海発電株式会社 (北陸電力の 100% 出資子会社)

調査の実施後、環境影響調査結果や RPS 法の趣旨などを踏まえ、平成 22 年度までの運転開始を想定し、段階的に開発を進める予定です。

位置図



《日本海発電株の概要》

設立	昭和 57 年	資本金	65 億円 (北陸電力(株)100%出資)
社長	濱田 昌一 (北陸電力(株)代表取締役副社長)		
所在地	富山県 富山市		
発電設備	獵師ヶ原発電所 (富山県・神通川水系)	3,500kW	
	熊野川発電所 (富山県・神通川水系)	7,000kW	
	片貝南又発電所 (富山県・片貝川水系)	5,000kW	
	新薬師発電所 (福井県・九頭竜川水系)	5,000kW	
	新熊野川発電所 (富山県・神通川水系)	5,000kW	
	久婦須川発電所 (富山県・神通川水系)	3,100kW	
	(最大出力 合計)	28,600kW	